

令和4年度  
公立高等学校入学者選抜  
学力検査問題

国語

( 8:50 ~ 9:40 )

注意

- 1 「開始」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 2 問題用紙は、6ページまであります。
- 3 解答用紙は、問題用紙の中にはさんであります。
- 4 「開始」の合図があったら、まず、解答用紙を取り出し、受検番号を書きなさい。  
次に、問題用紙のページ数を確認し、不備があればすぐに手を挙げなさい。
- 5 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 6 「終了」の合図で、すぐに鉛筆（シャープペンシルを含む）をおき、解答用紙を開いて裏返しにしなさい。

次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

二十四歳の「私」（夏風詩乃）は、以前は会社勤めをしていたが、今は「おばあちゃん」が営む手作り雑貨店『ゆうづづ堂』で雑貨作りや店の運営の手伝いをしている。次は、「私」が、仕事やこれからのことについて両親と話し合う場面である。

私は單刀直入に、今の想いを告げた。

「お母さんの言うとおり、安定してるかといえばしないし、私に合つた仕事は他にあるかもしれない。でも、私は『ゆうづづ堂』を自分の居場所だと思つてゐる。なにがあつても守りたい、大切な場所なの。」

私だけではない。あの店は、あの店を愛するお客様や、おばあちゃんにとっても、かけがえのない場所だ。私は携帯を取り出し、画像を開いた。昨日撮つた写真が、画面に表示される。

「これを見て。」

こたつの天板の真ん中に、携帯を置く。お母さんとお父さんが覗き込み、息をのんだ。映し出された写真は、ネックレスを掲げた董さんの姿だ。昨日、彼女にネックレスを手渡したとき、写真を撮らせてもらつたのだ。お父さんがほうと感嘆する。

「いい写真だな。この女性の表情、こつちまでほつこりするような笑顔だ。」

写真が趣味のお父さんに写真を褒められると、ちょっと嬉しい。

お父さんはのんびりと、画面中のネックレスを指差した。

「で、このネックレス、詩乃が作つたのか。」「うん。作つたつていつても、もともとあつたものを修繕して、少しアレンジを加えただけなんだけど……。」「十分すごいじゃないか。この表情を引き出したのは、ネックレスなんだろ。」

お父さんはやはりおばあちゃんみたいにマイペースで、躊躇なく褒め言葉を並べてくれる。反対にお母さんは、難しい顔で黙つていた。私は数秒奥歯を噛み、やがて意を決した。

こたつの天板に人差し指を立て、コンコンコンと、三回叩く。軽やかな音に反応して、お母さんの目がこちらを向いた。私は、指をこたつに置いたまま、言つた。「私が小さい頃に、お母さんに教えてもらつた。これ、気持ちが切り替わるんだつたよね。」トントントンと三回、指で叩く仕草。幸運のおまじないを基にした、お母さんの癖。

「おばあちゃんが作る雑貨は、それと似てるの。その雑貨を手にした人が勇気を出したり、自信を持つたりできる、スイッチなんだ。『ゆうづづ堂』は、そんなスイッチを人に分けてくれる店なの。私は、お客様の背中を押す雑貨を作りたい。誰かの支えになりたい。その想いを活かせる場所、『ゆうづづ堂』しか知らないんだ。」

話しているうちに想いが溢れ出して、止まらなくなる。お母さんは黙つて聞

〔注〕 雑貨店：日常生活で用いる小物やアクセサリーを売る店。

\* 董さん：「私」が以前勤めていた会社の先輩。結婚式につけるアクセサリーの修理を「私」に依頼していた。

\* 綾香：夏風綾香。「お母さん」の名前。

問一 部a、bの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

問二 ～～部における「息をのむ」の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 驚いて息を止める イ 緊張して息が苦しくなる

ウ 怒りで息が荒くなる エ 感動して息を吐き出す

問三 部1について、このときの「私」の心情を、次のような形で説明したとき、□に入る適切な言葉を、本文中の言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

「お母さん」の厳しい表情を見て少しためらつたが、気持ちを奮い立たせて、『ゆうづづ堂』が、「お客様に勇気と自信を与えたい、誰かの支えになりたい」という自分の□と決心した。

問四 部2における「お母さん」の心情を説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『ゆうづづ堂』にこだわり家族との話し合いに参加しない「私」を全く理解できずにいる気持ち。

イ 他の仕事との兼業までして店を運営していくことを思つてゐる「私」をひそかに心配する気持ち。

ウ 自分の思いを優先して非現実的とも思える希望を述べている「私」を少ししきりにしている気持ち。

エ 母親の自分より「おばあちゃん」の気持ちを尊重している「私」にやや不満を感じている気持ち。

いていた。しばらくして、<sup>2</sup>お茶を手に取り、ため息を吹きかける。

「あんたはまた、そんな夢心地な……。楽しいだけじゃダメなのも、店が好きって気持ちだけじゃどうにもならないのも、わかつてんじやなかつたの？」

「うん。だから、考えたんだ。もっとお店が繁盛するように、来年からは即売会にたくさん出店しようかなって。それと、遠くの人にも知つてもらえるよう、ネット販売始めてみようかなとか！」

私が言うと、お母さんもお父さんも驚いた顔をした。

「それでも不安だつたら、副業OKの会社に就職して、店との兼業も考えてる。

昼は会社、夕方以降と会社が休みの日は『ゆうづ堂』の店番をするの。」

「そうだけど、ハードすぎない？」

お母さんが青い顔をする。私は小さく頷いた。

「大変だよね。でも、ちょっと大変だとしても私は店を守りたい。それが私の幸せなんだ。」

お母さんの思い描く幸せが『安定』であるように、私にとっては、店を最優先するのが幸せなのだ。

董さんが初めて店に来たとき、おばあちゃんが紅茶を飲みながら言つていた。

「時が来たら、どうするか自然と決まるんじやないかしら。」  
仕事も夢も中途半端になるかもと焦つていた董さんに、おばあちゃんはそう言つた。「こうなりたい」と思える自分に、慌てて近づかなくてもいい。私も、店を守りたいという願望のためなら、時間も手間もいくらでもかける。

お母さんが絶句する。と、<sup>3</sup>お父さんがのんびり口を開いた。

「体を壊さない程度になら、いいんじやねえか？」

間延びした声が、居間にのっぺり広がる。

「詩乃が今までして守りたいものができたんだ。それって、親として祝福し

てやるべきことじやねえかな。いや、もちろん、体を壊さない程度についてのが前提だけどな。」そう話すお父さんに、お母さんの目線が行く。視線を浴びる

お父さんは、へへ、と笑つた。

「まあ、『いざとなつたら』そういうのも考えてるつて段階だろ？ 僕は詩乃が元気ならなんでもいいよ。綾香もそうだろ。」

お父さんに同意を求められても、お母さんは数秒押し黙つていた。けれどしばらくして、遠慮がちに呟く。

「もし、『やつぱり無理』って思つたら、私たちを頼りなさい。あんたはいつも、私に相談する前に決めちやうから。」

「うん。」<sup>4</sup>頷いた私の声は、ちょっとだけ潤んでしまつた。

「味方してくれて、ありがとう。」

△植原翠『手作り雑貨ゆうづ堂』による。一部省略がある。▽

## 問五

部3について、「お父さん」はこの場面においてどのような役割

を果たしていますか。次のような形で説明したとき、□に入る適切な言葉を、五字以内で書きなさい。

「私」と「お母さん」との対立で生じてしまった空気を、のっぺり広がるのんびりとした口調の間延びした声で□ことで、その場の雰囲気を良い方向に変える役割。

## 問六

――部4「頷いた私の声は、ちょっとだけ潤んでしまつた」のはなぜですか。その理由を、次のような形で説明したとき、□に入る適切な言葉を、本文中から六字で抜き出して書き、□に入る適切な言葉を、本文中の言葉を使って書きなさい。

「私」と「お母さん」とでは、□I□や守りたいものが違っているものの、最終的には、「お母さん」が「私」に□II□に入る□II□に入る適切な言葉を、と感じられて、うれしさが込み上げてきたから。

## 問七

本文の表現の工夫とその効果を説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

A 「お父さん」と「お母さん」の人物像を描き分けることで、理想と現実の間で悩む「私」の心情が暗示されている。

B 「私」が将来の夢を語る中に『ゆうづ堂』での神秘的な出来事が織り込まれて、物語がより魅力的になつてている。

C 「私」が自らの思いを語る言葉に「！」や「？」が用いられており、共感を得られないいらだちが強調されている。

次の文章は、筆者が大学生向けに行つた講義をもとにしたもので。これを読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

今日のご飯どうすると聞かれたら、コンビニで買うとか、<sup>\*</sup>学食で食べようとか、考える人が多いと思います。ときには家で料理をしたり、家族が作ってくれたご飯を食べたり。でもその食材はスーパーなどで購入する。最近はテイクアウトしたりネット注文したりするかも。つまり、現在では「<sup>\*</sup>買い食い」が当たり前になつてゐるといえるでしょう。

でも、人類の歴史をふり返ると、これは比較的新しい現象です。毎日の食事を確保することは、狩猟採集の古代から現在まで生きるために必須な行為です。ただ、食べるためには働くことの意味が変わりました。

かつて世界のほとんど地域で大多数人たちは、自然に近い農村に住み、自分たちの食べるモノ、着るモノ、使う道具などを、基本的には自分たちで作つて、食べたり着たり使つたりしていました。労働とは、自分や家族が使用するモノを自分たちで作ること。田畠を耕し、種をまいて作物を育て、家畜の世話をし、その収穫物を料理して食べ、その残骸やふん尿を土に戻して地力を保つ。そのための資源は、自分の田畠か借りた土地か、村が共同で使う野山や川や海など周りの自然環境でした。

自然環境とは共有財産で、そこで生活し、その資源で自分たちが生きていくために必要なもの。だからこそ、この生活の基盤を護るためにいろんなルールが決められていました。みんなの財産といつても、だれもが好き勝手に使えたわけではありません。自然を利用させてもらひながらも子孫の代まで維持できるよう、土の力を回復するために堆肥を入れたり、木を植え山の手入れをしたり、魚を捕る時期や量を制限したりして、環境を持続させていたのです。

ところが二〇〇〇～三〇〇〇年ほど前から、多くの人たちが農村を離れ、都市部の工場や商店で働き始めました。自分の土地も村の共有財産も失い、自力では食べるモノ・使うモノを作れない。だから、他者（＝資本家）の土地や工場で、決められた時間、決められた仕事をして（＝賃労働）、その稼いだお金で食品や必要なモノを買う。つまり賃金を得るために労働して、そのお金で、食べたり、着たり、使つたりするモノを購入するようになりました。現在では当たり前かもしれませんのが、賃労働という、他の人に雇われて、生活とは切り離された工場や会社に行つて働いて、その代わりに賃金を受け取るという労働の形は、<sup>3</sup>資本主義社会に入り産業革命のころに始まつた新しい働き方でした。

## 問一 部a、bの漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

問二 ～～～部の「られ」の働きとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 受け身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬

問三 ――部1「これ」の内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 食品を買う人が増え、自分で食材を調理する人が減ったこと。  
イ 每日の食を確保するためにテイクアウトやネット注文に頼ること。  
ウ 地元の新鮮な野菜や果物を直売所などで買うようになったこと。  
エ 食品や食材を購入することで、毎日の食事を成り立たせること。

## 問四 部2「環境を持続させていたのです」とあるが、その理由を次の

ような形で説明したとき、□I□に入る適切な言葉を、本文中から五字で抜き出して書き、□II□に入る適切な言葉を、本文中の言葉を使って、十五字以内で書きなさい。

自然環境は、そこに生きる人々にとつての□I□であるため、自分たちの代だけでなく□II□があつたから。

## 問五 部3について、筆者は「産業革命のころ」に「新しい働き方」に

変わつたと述べていますが、どのような労働からどのような労働に変化しましたか。次の三つの言葉を使って、七十字以内で書きなさい。なお、三つの言葉はどのような順序で使ってもかまいません。

使用するモノ 購入 賃金

すると、この労働者たちが必要とするモノを代わりに供給する産業が形成されます。モノを買う「消費者」が集まつた「市場」向けに、売つて儲けるためには「商品」を製造する産業、その商品を流通したり小売りしたりする産業などが作られていつたというわけです。食べるモノも、自分で栽培する・育てるモノから、企業など他の人たちが製造した「食べられる商品＝食品」へと変わりました。

ここでポイントは、「商品」とは、市場で他の人に売つて利潤を得るために生産するモノであつて、自分で使うために作るモノではないということ。そして、自分で使うために作るモノと、売つて利潤を得るために作るモノとでは、違つてくるということです。自分で使うためにモノを作るときには、空腹を満たして元気になるとか、寒さを防ぐとか、長く使えるとか、役に立つことが重要でしよう。そのモノを作るための資源や知恵やスキルを自分が持ち続けることも大切です。

対して「商品」としてモノを作るときには、売つて利潤を得ることが第一目的です。儲けるために作つてあるのですから、いくらで売つていくら儲けられるとかが重要になります。

結果として現在では、大多数の人たちが買い食いする「商品」を供給するためには、農業は、自分たちが食べるモノを育てるというより、売るための「商品作物」を生産する産業へと変わつきました。そして、この農産物を原料として使う製造業、さらには流通・小売業、外食産業、商社や金融業など、農と食に関わるさまざまな産業が発展してきました。現在ではもつとたくさんの産業が絡み合つて、私たちに日々の食を提供しています。

このようないまざまな企業と産業が構成する食料供給体制は、「資本主義的食料システム」といわれています。そして、このシステムを構成する企業たちはそれぞれ利潤を求めてしのぎを削り、産業や政府は成長を目指す、資本主義経済の\*カラクリで動いているのです。

△平賀緑『食べものから学ぶ世界史』による。一部省略がある。▽

### 〔注〕

- \* 学食＝学生食堂の略。学生のために大学内に設けられた食堂。
- \* \* 「買ひ食ひ」＝ここでは「食べるためによること」という意味。
- \* 地力＝土地が作物を育てる能力。
- \* カラクリ＝ものなどを動かすための複雑な仕掛け。

### 問六

――部4について、「資本主義的食料システム」とはどのようなものですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々の幸せや自然環境を守るために、さまざまな企業が互いに協力し、十分な食料を効率よく供給するシステム。

イ 「商品作物」を生産し人々に売るために、農業やそれ以外の産業が複雑に関係し、食料を提供するシステム。

ウ 深刻化する食品ロスを減らすために、産業や政府が食料供給のバランスを整え、食料生産を抑制するシステム。

エ 経済を成長させるために、「商品」の製造に必要な資源をできるだけ確保し、効率だけを追求するシステム。

### 問七

本文の論理の展開の仕方にについて説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア はじめに労働についての古い習慣を示し、労働と食料生産との関係が変化した歴史的背景を説明しながら、資本主義経済の仕組みを技術的な視点から解説している。

イ はじめに労働についての新しい習慣を示し、働く目的の変化を環境問題の視点からデータをもとに解説しながら、資本主義経済の仕組みを比較的高く評価している。

ウ はじめに食料についての身近な例を示し、食料生産や労働の目的の変化を順を追つて丁寧に説明しながら、資本主義経済の仕組みを筋道を立てて解き明かしている。

エ はじめに食料についての特殊な例を示し、食料生産の目的が利潤を得ることだけに変化した理由を解き明かしながら、資本主義経済の仕組みを厳しく批判している。

次の文章を読んで、あととの間に答えなさい。

雲門大師、門前の川にて大根の茎を洗ひけるに、誤つてその一葉を流したり。  
中国の禪僧

大師流れに隨ひて之を追ひかけ、漸く之を拾ひ上げけるに、傍らに立ち止

まりて眺めゐたる庄屋は之を奇とし、「天下の名僧とも云はるる大師が、何故  
村の長はこれを不思議に思い

にかかる吝嗇の振る舞ひをなさるるや。」と詰りけり。大師は不審なる顔を  
責めた

なしつつ、拾ひ上げたる一葉を指さして、「一茎の大なるも一葉の微なるも、  
大根の大きい一茎もわずかな一葉も

均しく天より人間を養ひくだされんとて生育したまはる賜物なり。然るに一葉

何の用をかなすとて、之を流し之を捨てて意とせざるは、これ天恩を忘れて人  
何の役にも立たないと考えて

気とめないのは

道に背くものなり。」と拾ひ上げたる一葉を捧げて恭しく天を拝す。顧みて

庄屋に向かひ、「いかに足下はこの感あらざるや。」と問はれしに、庄屋は返す  
「どうしてあなたはこのように思わないのか。」

言葉もなく、心中深くその知識達徳に感服し、その後は大師の教訓を受けける

尊い考え方

とぞ。

八『想古録』による▽

問一 ～～～部「ゐたる」を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問二 ～～～部A～Dの中から、主語が「雲門大師」であるものをすべて選び、記号で答えなさい。

問三 ～～～部1「之」の指す内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 雲門大師が、川で洗つた大根の一葉を流してしまつたこと。

イ 雲門大師が、川で大根を洗つていて庄屋を眺めていたこと。

ウ 雲門大師が、川に流した大根の一葉を追いかけて拾つたこと。

エ 雲門大師が、川に大根が流れていく様子を不思議がつたこと。

問四 ～～～部2について、「雲門大師」がこのように言つたのは、「大根の一葉」を、どのようにものだと考えていいからですか。本文中から二十四字

でさがし、その最初の五字を抜き出して書きなさい。

問五 ～～～部3について、「庄屋」が「雲門大師」の教えを受けるように

なつた理由を、次のような形で説明したとき、□に入る適切な言葉を、現代語で十五字以内で書きなさい。

わざかな一葉であつても天に感謝するという行為の根底にある雲門

大師の

から。

次の問い合わせに答えなさい。

問一 次の1～5の部のカタカナの部分を、漢字で書きなさい。なお、楷書で丁寧に書くこと。

1 ハイに空気を吸い込む。

2 人の意見に耳をかす。

3 品物をソウコにしまう。

4 他の国とメイヤクを結ぶ。

5 結果から原因をスイングする。

問二 次は、校内放送において、委員会活動を紹介するために行つた「委員長に活動の内容や目的を尋ねる」という企画の中で、生徒会役員の西さんが図書委員長の林さんにインタビューをしている場面です。この場面における西さんの質問の仕方を説明したものとして最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

西さん 図書委員会はどのような活動をしているのですか。

林さん 皆さんに新しい本を紹介したり、図書室に特集コーナーを作つたりしています。

西さん なるほど。それらの活動をする目的は何ですか。

林さん 生徒の皆さんに一冊でも多く本を読んでもらうためです。

西さん そもそも、本を読むことにはどんな意義があるのでしょうか。

林さんはどのように考えていますか。

林さん 読書により新しい知識を得たり、自分の考えを広げたりすることができます。また、読書は毎日の生活を楽しくしてくれますし、良い本との出会いは一生の財産にもなると思います。

西さん 読書にはそんな素晴らしい一面があるのですね。

ア 相手の話を途中でさえぎって、足りない情報を聞き出そうとしている。

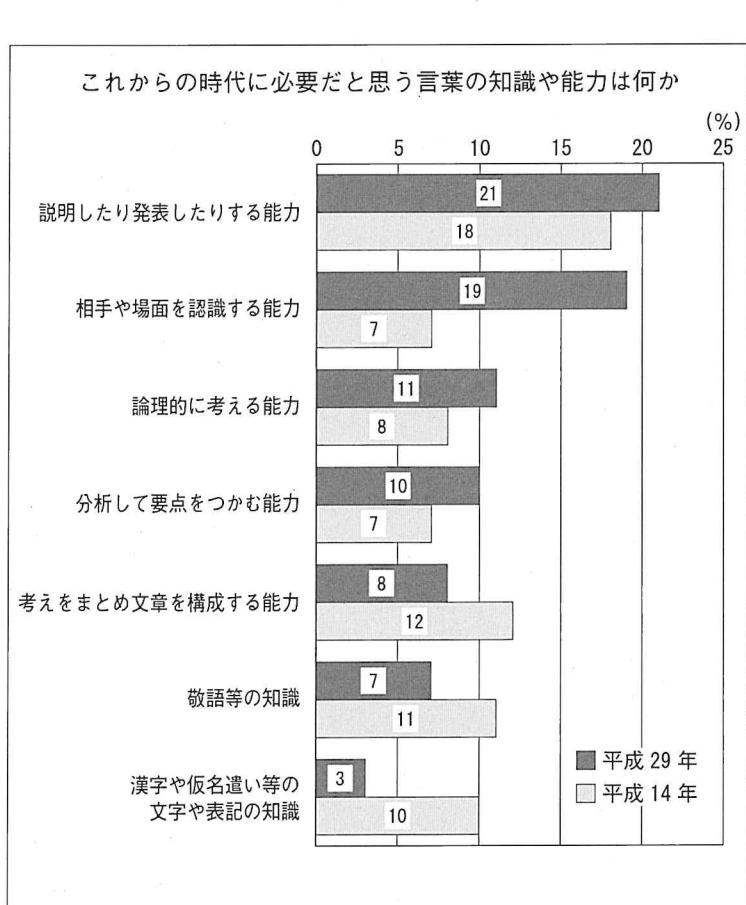
イ 自分の体験に関連した質問をして、相手の共感を得ようとしている。

ウ 同じ質問を繰り返すことで、納得できる結論を導き出そうとしている。

視点を変えながら質問することで、相手の考えに迫ろうとしている。

次のグラフは、全国の十六歳以上を対象に、平成十四年と平成二十九年に実施した「国語に関する世論調査」の中の、「これから時代に必要だと思う言葉の知識や能力は何か」という質問に対する回答結果を表したものです。このグラフをもとに、「これから自分に必要な言葉の知識や能力」という題で、まとまりのある二段落構成の文章を書きなさい。第一段落には、グラフを見て気づいたことを書きなさい。それをふまえ、第二段落には、あなたの考えを、その考えた理由を含めて書きなさい。

ただし、あとの《注意》に従うこと。



## 国語 正答及び採点基準

は配点（合計 100）

問	備 考
問三 五 六 二	本文に即した内容で あること。 本文に即した内容で あること。「ほぐす」 などでもよい。 本文に即した内容で あること。「同意 してくれた」などで よい。

(3) 告白・表記 主意	3	(2) 構想・叙述 二九	6	(1) 内容 二九	9
A B C	A B C D	A B C D			18

1

3	2	2	2	2	2	
						13

1

4	4	3	2	2	
					15

15

五

[語彙の範囲]

(1)

- ○ グラフを見て気づいたことが、明確に述べられているか。
- 「これから自分の必要な言葉の知識や能力」という題に即して、理由を明確にしながら、自分の考えを深めているか。
- 第二段落で述べられている内容が、第一段落で述べられている内容を踏まえたものになつてゐるか。

(2) ○○○構想・叙述  
○○○第一段落には、グラフを見て気づいたことが述べられ、第二段落には、自分の  
○○○の考えが、そう考えた理由を含めて述べられているか。  
○○○文章の組み立てや展開が適切で、叙述の仕方が的確であるか。

(3) ○○ 書写・表記 文字が正しく、表記や語句の用法が適切であるか。文字や大きさ、配列など、文字が整っているか。

〔注意

この採点基準によつて処理しがたい細部については、各学校で適正な基準を設けること。

問 二	問 一				
	5	4	3	2	1
工	推 測	盟 約	倉 庫	貸	肺
				す	

四

問五 (例)	問四	問三	問二	問一
尊	天			
い	よ	ウ		
考	り		B、D	
え	人			いたる
に	間			

三

三	問
問二 五	備 考

問一 すべてできて正答とする。順序は問わない。